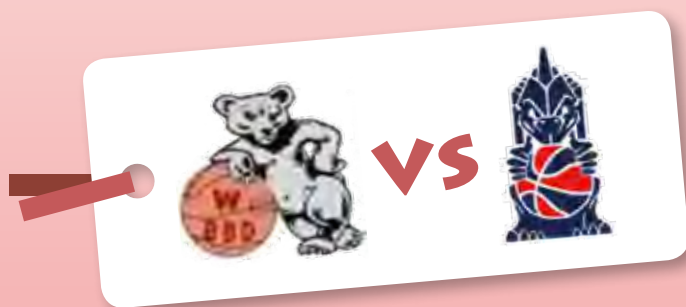


早慶 ランキング対決!



女子編

1. 早稲田っぽい人は? / 慶應っぽい人は?

早

- 1位 鈴木 美香 (社学3年)
- 2位 中田 珠未 (スポ科4年)
- 3位 安藤友理恵 (スポ科4年)

第1位に輝いたのは、早稲田の申し子と自ら言い放つ3年鈴木美香。人生のほとんどを早稲田で過ごし、早稲田を知り尽くしてきた。彼女と肩を並べることができる者はいないだろう。早稲田の歴史に名を残すことができるのか。



第2位に輝いたのは、4年中田珠未。彼女こそ、未来が約束された早稲田が誇るバスケットボール界期待の星。コートの中ではもちろん、コートの外でも常に光り輝く彼女に是非ご注目ください。

第3位は、早稲田のムードメーカー4年安藤友理恵。明るく元気な彼女は、常に早稲田を照らし続けている。溢れる早稲田愛は、早稲田アリーナに名前を刻むほどである。既に早稲田の歴史の一部となった彼女の、攻撃的なプレーをお見逃しなく!

慶

- 1位 梅木 理沙 (経済4年)
- 2位 梅田 香 (環境情報3年)
- 3位 柴田 祥子 (経済3年)

圧倒的な差で第1位を勝ち取ったのは、我らが主将、梅木理沙だ。幼稚舎出身、まさに人生を慶應に捧げてきたといっても過言ではない。彼女が持つコミュニケーション能力と人脈の広さから、部員は塾内全員と知り合いであると信じて疑わない。是非一人ぐらい紹介していただきたいものである。

第2位は、梅田香だ。慶應義塾ニューヨーク学院出身。とはいえ英語堪能というわけではなく、あくまでも「喋れない中の喋れる寄り」。ニューヨーク高の名残だろうか、冬でも素足でサンダルを履いて生活している。近年は冬のサンダルがトレンドらしいので、皆さんも彼女を参考にしていきたい。風邪にはお気をつけて。



第3位は、柴田祥子だ。慶應義塾女子高出身。彼女の大雑把というのか、勢いが良いというのか、良い意味で言葉に表すのが難しい性格は女子高生活での産物だろう。また、ポロラルフローレンを着こなす姿は非常に華麗だ。いつかブランドモデルとして採用されてしまわないかと我が部は心配している。

2. 自分が異性で恋人にするなら



- 1位 船生 晴香 (スポ科3年)
2位 河村くるみ (教育2年)
3位 深川 悠佳 (スポ科4年)

第1位に輝いたのは、女バスの愛されキャラ船生晴香。福島の光をたっぷり浴びて育った彼女は、太陽のような広い心で常にチームに笑顔を届ける。そんな彼女であるが、家でダラダラするオフを過ごすような一面も。彼女にも春がやってくる予感？



第2位は、河村くるみ。入部当初から愛くるしい彼女の虜になった部員は多い。その魅力は増す一方である。男女問わずモテモテの彼女を恋人にするのはなかなか長い道のりになりそうだ。

第3位は、深川悠佳。トレーナーとして女バスをまとめるしっかり者の彼女。頭の良さはもちろんだが、ノリが良く、様々なジャンルの知識も多いというまさに完璧な女性の鏡。彼女の恋人候補に立候補してみませんか？



- 1位 中島 花 (環境情報2年)
2位 足立 はな (法律3年)
3位 小福川莉奈 (法律3年)

第1位は、中島花だ。しっかり者で優しい彼女には、実はぶっ飛んでいるという一面がある。そのギャップに翻弄される者は少なくない。彼女には妄想上彼氏が8人いるという噂があるとかないとか…。温かく見守ろう。

第2位は、足立はな。ザ清纯派の彼女の笑顔に誰もが魅了される。そして何より、彼女は優しさの塊である。彼女に心を奪われない者はいない。だが彼女は足が速すぎる。果たして彼女を捕まえることができる者はいるのだろうか。

第3位は、小福川莉奈。彼女は語学堪能で朗らかな人柄、そして努力家である。一言で表すと、まさに完璧女子。全てが完璧な彼女に匹敵する者がいるのだろうか。そんな彼女の出身校は、慶應義塾ニューヨーク学院。やはり彼女も例外なくぶっ飛んでいる。



3. 子供の頃可愛かった人は？



- 1位 澁谷 咲月 (スポ科4年)
2位 栗田 有子 (スポ科2年)
3位 今井美沙樹 (商2年)

第1位は「可愛い」の言葉がよく似合う関西美人澁谷咲月。そんな彼女の幼少期はため息が出るほどの可愛さである。そんな彼女も美しく、しなやかな女性に成長し、多くの人を魅了し続けている。

第2位は、幼少期の写真を自ら見せびらかすほど自信があるという栗田有子。今や「女子バス界のお笑い担当」と呼び声高い彼女だが、幼少期からこの貫禄。生まれながらに備った圧倒的な存在感で、今後もチームに笑いを届けることだろう。

第3位は、女バス一乙女な今井美沙樹。幼少時代はもちろん、小学生時代から可愛いと言われ続けた彼女。卒業アルバムに写る美しい彼女を是非ご覧いただきたいところだが、ご想像にお任せすることとしよう。



- 1位 武藤 怜 (商2年)
2位 重増 志保 (環境情報4年)
3位 須藤 史帆 (文3年)

第1位は武藤怜。長身で、スマートなプレースタイルから大人っぽい印象を持つ武藤。しかし、幼い頃の彼女は何も考えていなさそうな表情と癖のある眼鏡姿で、一目見た者をつい微笑ませてしまう可愛らしさを放つ。遠征や合宿中の夜、コンタクトを外し眼鏡姿になった彼女に部員全員が笑みを隠し切れなかった。

第2位は、本塾の副将、重増志保。彼女の1番のチャームポイントは大きくて垂れ目気味の瞳だ。この瞳から穏やかな印象を与える重増だが、コートに立った途端、目の色が変わる。闘志を剥き出しにプレーする姿をぜひ見て頂きたい。

第3位は、須藤史帆。彼女は、見る者がつられて笑ってしまうほど幸せそうな笑顔で笑う。このあざとい笑顔で、これまで数々の大人や先輩に甘えてきたに違いない。



4. 大食いな人は？



- 1位 船生 晴香 (スポ科3年)
- 2位 黒井 優衣 (スポ科2年)
- 3位 下和田ゆい (スポ科4年)

第1位は、美味しくそうに頬張る姿が魅力の船生晴香。その驚異的な食欲からは想像できないほどスレンダーな彼女。食べても太らない人とはまさに彼女のことである。あなたの隣で大盛りを注文している女性は彼女かもしれない。



第2位は、美味しいお米で有名な新潟県出身の黒井優衣。のんびり屋さんな彼女は、のんびりと食べる。食べ続ける。しかし本人は大食いキャラを払拭すべく、ダイエット計画を立てているとか。早慶戦では魅惑のボディで皆さんを虜にしてみせます。

第3位は、誰もが認める大食いキャラの主務下和田ゆい。すらっとした彼女だが、とにかく甘いものに目が無い。練習前のコンビニスイーツが日課だが、どこに蓄えているのだろうか。謎は深まるばかりである。



- 1位 山崎 多絵 (政治4年)
- 2位 重増 志保 (環境情報4年)
- 3位 白藤 優果 (理工3年)

めでたく第1位を獲得したのは、山崎多絵。部員の誰もが認める痩せの大食いである。焼肉に行けば、持ち前の頭脳を使って、時間が許す限りピート口とアイス無限に交互に食べるという計算式を披露する。お寿司に行けば、50貫は平気で平らげることが出来る。男子の皆さん、顔負けですよね？恐ろしい一言に尽きる。



第2位は、重増志保。打ち上げなどの際にも、酒や飲み物の量の4倍の食べ物を一人で頼んでしまう。部室では、食い意地を張るばかりに「他に硬い場所無かったから。」と自らの膝を犠牲にして卵を割る姿をよく見かける。いつ愛犬マックスのドッグフードに手を出すのかと部員の間で密かに囁かれている。

第3位は、白藤優果。身長145センチの彼女はそのサイズに似合わず強靱な身体を持つ。その秘訣は3パックの納豆、豆腐を一丁、スーパーで売られている肉を1パックという夜ご飯にある。クッキーをお弁当箱2つにギッシリ詰めて持ってきたこともある。彼女の唯一食べきれない食べ物はカルボナーラ……ってなぜ？

5. いいお母さんになりそうな人は？



- 1位 内山 未悠 (社学4年)
- 2位 中村 美羽 (社学4年)
- 3位 安藤友里恵 (スポ科4年)

堂々の第1位は、我らが主将内山未悠。バスケット、成績オールAの文句無しの彼女。そんな彼女だが、ユーモアもありチームを明るくする存在。子供に楽しく英才教育をする姿が目に見えよう。



第2位は、中村美羽。太陽のような笑顔と、寛容な心、ひたむきな思いで早稲田を牽引する。マザーテレサのような優しさが魅力の彼女に、多くの人が救われていることは間違いない。いいお母さんになることが約束されているのだ。

第3位は、愛に溢れて育った純粋少女、安藤友里恵。両親の愛、早稲田への愛、まさに愛情に溢れた人間とは彼女のことである。そんな彼女がお母さんになり、子供らに溢れる愛で接している姿が目に見えよう。

3人の将来が楽しみで仕方ない。



- 1位 頃末 沙樹 (理工4年)
- 2位 中島 花 (環境情報2年)
- 3位 足立 はな (法律3年)

第1位は、頃末沙樹。彼女が持参した手作りオートミールクッキーは、健康面にまで気が配られている徹底ぶりである。その器用さは家事の枠を超え、3Dプリンターで自身のスマホケースを作るほど。彼女の主婦力は未知数だろう。



第2位は、中島花。クールな彼女がランクインした理由。それはチーム全員におにぎりを差し入れて下さった彼女のお母さんのおかげだろう。彼女もその献身的なDNAを引き継いでいると期待したいところである。

第3位は、副務の足立はな。プレーヤーと副務を両立する彼女はまさに主婦の鏡。同期からのご飯の誘いを断り、お家ご飯を楽しみに帰る彼女が持つのは「理想とする家族愛」である。専業主婦という夢を是非叶えて頂きたい。

6. おしゃれな人は？



- 1位 鈴木 美香 (社会学3年)
2位 岩田千夏子 (社会学4年)
3位 濑谷 咲月 (スポーツ科4年)

第1位は、独自の価値観とセンスが魅力の鈴木美香。彼女独自の色彩感覚とスタイリングが存在する。彼女にとって、オシャレという言葉は最高の褒め言葉である。ちなみにそんな彼女の笑いのセンスはかなりズレているとの噂も。



第2位は、全てにおいてセンスが光る岩田千夏子。ファッションのみならず写真やデザインなどの分野でも、その個性とセンスを存分に発揮し輝いている。彼女がインフルエンサーになる日も遠くないだろう。

第3位は、抜群のスタイルと着こなしが魅力の濑谷咲月。ファッションはもちろんのこと、ヘアアレンジのレパートリーも多く、みんなの憧れの的である。生まれながらの美しいスタイルを存分に生かし、多くの人を魅了している。



- 1位 眞尾 瞳 (商2年)
2位 梅田 香 (環境情報3年)
3位 西 理奈 (政治2年)

おしゃれな人第1位は、眞尾瞳だ。彼女はどんなテイストの服でも着こなしてしまう。カジュアルな服も、スポーティーな服も、原宿系も、モードな服も、女の子らしい服も、全部彼女だからこそ似合うのかもしれない。



第2位は、梅田香だ。小顔ですらったとした長い手足をもつ彼女は、モデルのようなスタイルである。その体型を活かしてスポーティーな服を着こなす。「これはパジャマ」とたまに彼女は言うが、本当にそのおしゃれな姿で寝ているのだとすればなんて素敵なんだろう。

第3位は、西理奈。ある部員からの情報によると恋人に着て欲しい服装ランキング第1位だそうだ。媚びないけれどどこか女の子らしい、クールな格好をする彼女の口癖は、「膝の穴が寒い」。公式な場には、ぜひ膝に穴があいていないボトムスで登場してほしい。

7. 女らしい人は？



- 1位 濑谷 咲月 (スポーツ科4年)
2位 今井美沙樹 (商2年)
3位 細貝野乃花 (スポーツ科4年)

堂々の第1位はフローラルな香りをまとった天使、濑谷咲月。可愛らしい顔立ちと、抜群のスタイルという女子なら誰もが憧れる逸材。内面もピュアで努力家という誰もが納得する。



第2位は、今最もノリに乗ってる今井美沙樹。女子力の高さ、コミュカの高さで大学生活を謳歌している彼女。そんな彼女だが、コートの上では体を張ってチームに勢いを与える。そんなギャップは、彼女の最大の魅力であり武器なのだ。

第3位は、流行の最先端に行く細貝野乃花。かわいいものや、流行のコスメのことなら彼女に聞けば間違いはない。そんな彼女は、動物やゆるキャラが好物という意外な一面も。あなたも独特な細貝ワールドに引き込まれてしまうかも？



- 1位 小福川莉奈 (法律3年)
2位 ビディンガー美亜 (商2年)
3位 梅木 理沙 (経済4年)

見事第1位に輝いたのは小福川莉奈。長身、ロングヘアで、身に付けるものはシンプルなのに上品であるという、まさに大人女子。人を優しく包み込む性格の持ち主でもある彼女の好物はパイの包み焼きでも、小籠包でもなく皮を剥くだけのバナナ。実は猿人女子なのかもしれない。



第2位は、ビディンガー美亜だ。本塾一のキュートな顔立ちと天然な性格で世の男たちを翻弄する。しかし近頃、天然というよりただのアホなのではないかという説が浮上している。彼女はリップを欠かさず持ち、常に潤いある柔らかそうな唇を保っているが、同時に顔を柔らかくする努力をすることも勤めた。

第3位は、我らが主将、梅木理沙。ハニーの甘い香りを漂わせている彼女には部室のロッカーで蜂を飼っているという都市伝説がある。さらに彼女は香りだけでなく、人の心をも常に気遣ういい女。暫し心のうちを読み取られているのではないかと不安になるほどに彼女の気遣い力は人の斜め上に行く。そんな彼女のチャームポイントは斜め45度に下がる眉毛。